

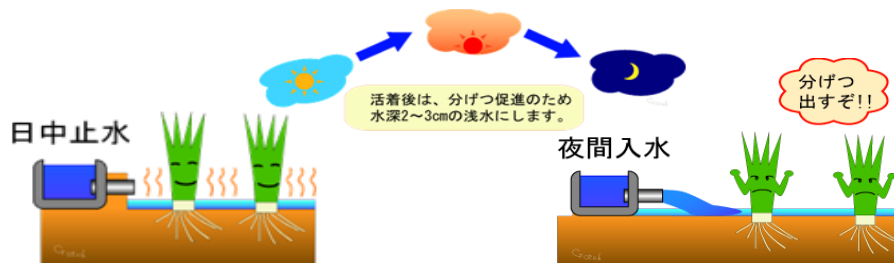
## 6月上中旬は莖数を確保するための大変重要な時期です！！ 浅水管理やワキの発生防止で分けつ促進！

浅水管理やワキ発生時の水交換等、きめ細やかな水管理で分けつを促しましょう！

1か月予報（気象庁 5/30 発表） 6/1～6/7：平年より低い 6/8～6/14：平年並～高い 6/15～6/28：平年並～高い

### 1 天気やイネの生育状況にあわせた水管理

- 苗の活着後は、2～3 cmの浅水管理とし、**日中止水・夜間かんがい**で地水温にメリハリをつけ、分けつの発生を促します。
- 強い風が続く場合は、一時的に深水とし、イネを保護しましょう。



### 2 土壌の異常還元（ワキ）や表層剥離は早めに対策

- 土壌の異常還元（ワキ）の発生は、イネの根を痛め、生育を停滞させます。また、表層剥離の発生は、地温の上昇と酸素の供給を妨げます。
- ワキの兆候（水田に足を踏み込んだ時にわずかな気泡がみられる）がみられた場合は、速やかに水の入替えや夜間落水**を行いましょう。

### 3 除草剤は遅れずに散布

- 適用雑草や葉齢等、除草剤の使用基準をよく確認し、**適切な使用時期の範囲内で早めの散布**を心掛けましょう。
- 除草剤の散布後7日間は止め水とします。**除草剤の散布前には必ず水交換**を行いましょう。

### 4 補植用取置き苗の速やかな処分

- 補植用の取置き苗は残っていませんか。取置き苗は、いもち病の伝染源となります。
- 補植作業は田植え後1週間以内に行い、**取置き苗は速やかに処分**しましょう。

## 雪若丸の安定生産には早期の莖数確保が必須！

移植後の強風や低温により、植え傷みがみられるほ場もあります。

葉色の低下がみられる、または、分けつが少ない場合は、早めに農業技術普及課にご相談ください。

## 春季農作業事故防止啓発運動 展開中！

**熱中症にも要注意。**こまめな休憩と水分補給。  
ゆとりをもった作業を心掛けましょう。

